

「生活道路対策エリア」の取組事例(札幌市美園地区の事例)

みその

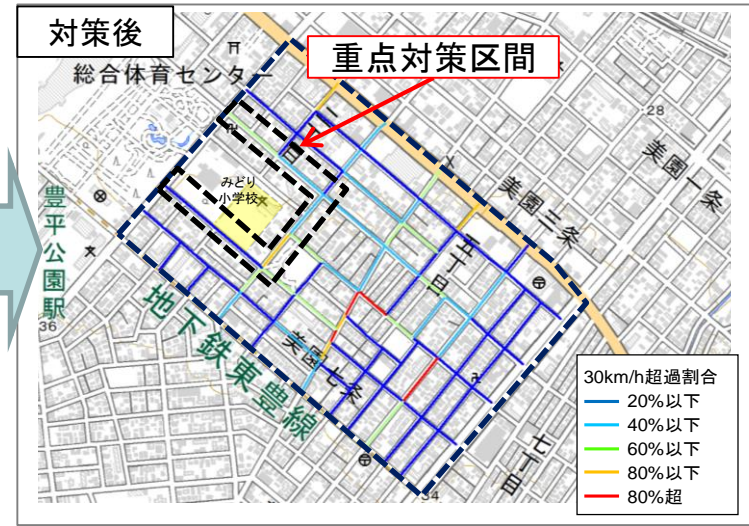
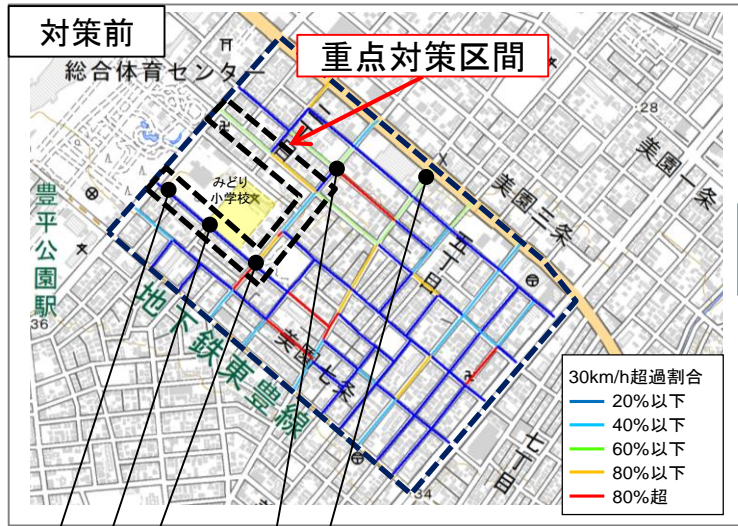
減速路面標示・ゾーン30標識・ゾーン30路面標示・交差点カラー化・外側線表示・交差点明示マーク

- 生活道路対策エリア内交通の7割以上が通過交通のため、進入抑制対策及び速度抑制対策を実施(ゾーン30路面表示、外側線表示、交差点カラー化)
- 重点対策区間では、半数以上が速度超過しているため、速度抑制対策を実施(減速路面表示、ゾーン30標識、交差点明示マーク)
- 協議会を2回開催(第1回:H27.6、第2回:H29.8開催)し、地域住民等と連携して取組内容について検討
- 重点対策区間において、30km/h超過割合が16ポイント減少するなど、速度抑制効果が発現

取組概要



ビッグデータ分析結果



協議会の開催

地域住民、学校関係者及び関係機関の協働で協議会を開催し、取組内容について検討

H27.6 : 取組内容に関する検討
H29.8 : 効果検証に関する検討

整備状況



整備効果

	30km/h超過割合		平均速度	
	エリア全体	重点対策区間	エリア全体	重点対策区間
対策前	33.4%	55.8%	22.9km/h	29.4km/h
対策後	29.7%	39.8%	22.2km/h	26.3km/h

(▲3.7%) (▲16.0%) (▲0.7km/h) (▲3.1km/h)

【出典】1.履歴点データ：ETC2.0プローブデータ (30km/h超過割合) 【対策前】H27.9、【対策後】H29.11
2.背景地図：国土地理院